

第31回奈良市子ども・子育て会議 会議録			
開催日時	令和4年7月8日（金） 午後1時から午後3時まで		
開催場所	オンラインを併用したハイブリッド形式 ※本会場は奈良市役所 北棟2階 202会議室		
出席者	委員	大方会長、浜田副会長、石井委員、伊藤委員、岡澤委員、岡田委員、梶木委員、國原委員、栗本委員、櫻井委員、田畑委員、辻中委員、山下委員 【計13人出席】	
	事務局	【子ども未来部】 鈴木子ども未来部長、野儀子ども未来部理事、保田子ども政策課長、田村保育総務課長、松田保育所・幼稚園課長、中村子ども育成課長補佐、松原子育て相談課長、阪口一時保護課長、東浦子ども支援課長 【保健所】 藤岡母子保健課長 【教育委員会事務局】 五味原教育政策課長、細川地域教育課長 川口学校教育課長補佐	
開催形態	公開（傍聴人：0名）	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	1 審議事項 （1）会長及び副会長選出 （2）各部会委員の指名 2 報告事項 （1）第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について （2）子どもセンター運営状況について （3）第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）の策定について （4）奈良市子ども会議・移動あそび場事業について		
決定又は取り 纏め事項	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長が選出され、各部会委員が指名された。 ・第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、主な事業の令和3年度実績をとりまとめた資料を提示し確認いただいた。 ・子どもセンター運営状況について、資料を提示し確認いただいた。 ・第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）の策定について、資料を提示し確認いただいた。 ・奈良市子ども会議・移動あそび場事業について、資料を提示し確認いただいた。 		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 審議事項			

(1) 会長及び副会長選出

- ・事務局から、会長及び副会長選出について、説明を行った。
大方会長、浜田副会長に決定
<特に意見なし>

(2) 各部会委員の指名

- ・事務局から、各部会委員の指名について、説明を行った。

以下のとおり決定

子ども条例部会：浜田委員、石井委員、伊藤委員、梶木委員、栗本委員、
櫻井委員、田畑委員、辻中委員

教育・保育部会：大方委員、岡澤委員、岡田委員、國原委員、島委員、山下委員
<特に意見なし>

2 報告事項

(1) 第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について報告

- ・事務局より、「第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況」について、説明を行った。
- ・委員より、資料2-2の13ページの(6)「養育支援訪問事業」について、年間延べ派遣世帯数が計画値よりも実績値が大きく上回っているが、今年度以降の計画値を増量する想定なのか、という質問があった。
- ・事務局より、検討したいと回答した。
- ・委員より、幼稚園の認定こども園移行に伴い、定員が拡充されたようだが、保育会においても、地域の子どもたち及び地域を支援するため、認定こども園に移行したいという意見がある。現在待機児童が少なくなった中、私立保育所においても1号認定子どもを迎えられるよう、認定こども園への移行について、検討していくのか、という質問があった。
- ・事務局より、待機児童が少なくなっているものの、保育要件である就労時間の引き下げを予定していることから、今後の保育ニーズを注視する必要がある。また、私立保育所でも保育だけでなく、教育も含めて、地域の子どもをしっかりと見守っていききたいという意見があることは承知しているところであり、私立保育所への意向調査も踏まえて、今後検討していきたいと回答した。

(2) 子どもセンター運営状況について報告

- ・事務局より、「子どもセンター運営状況」について説明を行った。

- ・委員より、一時保護中の児童に対する意見表明の取組として、アドボケイトによる意見表明支援や意見箱の設置等があるとのことだが、具体的にどのような意見や要望があるのか、という質問があった。
- ・事務局より、ケースワーカーに対する要望や一時保護所の生活に関する事柄等意見があったと回答した。
- ・委員より、一時保護中の児童とアドボケイトとの関係づくりは大切だが、一時保護の性格として、児童が短期間で出入りするため信頼関係の構築に工夫が必要であるという意見があった。
- ・委員より、地域子育て支援センター「にじいろ」の利用者内訳について、広場の中学校区外在住者数が校区内在住者数より上回っており、「にじいろ」の地域以外にも利用ニーズがあると見受けられるが、他の地域に同様の施設を開設する予定はあるのか、という質問があった。
- ・事務局より、地域子育て支援センター「にじいろ」の類似施設は市内に17か所あり、その地域に住んでいる子育て世帯が利用している実績があると回答した。
- ・委員より、地域子育て支援センター「にじいろ」の類似施設に、他の施設のパンフレットを設置するなど、横のつながりを作っておくことが大切であるという意見があった。
- ・委員より、一時保護所の入所期間は最長2か月だが、2か月经っても帰れない子どもがいて、子どもの人数は積み上がっていくと思うが、その際はどのように対処するのか、という質問があった。
- ・事務局より、入所後2か月以内に子どもの援助方針が決まるようケースワーカーが子どもや親と定期的に面接を行っているという回答した。
- ・委員より、保護されている子どもが意見や要望を言いたいときに、アドボケイトとどのくらいの頻度で会えるのか、何か要望したら会えるのか、意見箱に投函したものが、どのように外部に繋がるのか、という質問があった。
- ・事務局より、意見箱は毎日チェックしており、管理職で意見を共有して、数日以内に、子どもに回答している。2週間に1回、アドボケイトが来所し、アドボケイトとの面接を希望した子どもが会える仕組みである。その他子どもが希望したときにアドボケイトと会える仕組みもある。子どもとアドボケイトが面接した内

容は、子どもが秘密にしたいときは子どもとアドボケイトとの間の秘密とする。また、子どもが職員に虐待されているなどの重大な問題については、外部の機関である審議会で解決していく流れを作っていると回答した。

- ・委員より、児童養護施設の対象年齢において、22歳以降も入所可能と制度が変わったことについて、奈良市はどのような対応をしているのか、という質問があった。
- ・事務局より、国からの通知を拝見し、詳細を熟知しながら取り組んでいきたいと回答した。

(3) 第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）の策定について

- ・事務局より、「第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）の策定」について説明を行った。

<特に意見なし>

(4) 奈良市子ども会議・移動あそび場事業について

- ・事務局より、「奈良市子ども会議・移動あそび場事業」について説明を行った。
- ・委員より、移動あそび場について、地域との関わり方など、ビジョンはあるのかという質問があった。
- ・事務局より、今年度は実施初年度であるため、事業検証として実施する。他市の事例等を参考に開催について、検討していきたいと回答した。

資 料	<p>【資料1-1】奈良市子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>【資料1-2】奈良市子ども・子育て会議条例 子ども条例部会設置要領、教育・保育部会設置要領</p> <p>【資料2-1】第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）令和3年度進捗状況一覧</p> <p>【資料2-2】第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）の令和3年度進捗状況について</p> <p>【資料3-1】奈良市子どもセンター【児童相談所部門】の実績</p> <p>【資料3-2】子どもの発達支援利用実績</p> <p>【資料3-3】地域子育て支援センター「にじいろ」利用実績</p> <p>【資料4-1】令和4年度「奈良市子ども会議」について</p> <p>【資料4-2】令和4年度子ども会議参加募集チラシ</p> <p>【資料4-3】「移動あそび場事業」について</p> <p>【資料5（添付）】第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市</p>
-----	--

	<p>子どもの貧困対策計画)</p> <p>【資料6 (添付)】第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン (奈良市子どもの貧困対策計画) 概要版</p> <p>【資料7 (添付)】第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン (奈良市子どもの貧困対策計画) 概要版 補足資料</p> <p>【資料8 (添付)】なら子育て情報ブック 2022年版</p>
--	--